

## 「母子生活支援施設の在り方」検討について

## 1 在り方検討を行うに至った経緯

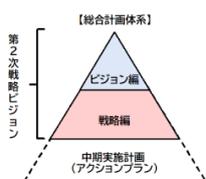
- 市内5つある母子生活支援施設では、平成30年に1施設の改築を行ったが残りの施設についても老朽化への対応について検討。
  - 老朽化対応にあたっては、全国的には入所世帯数は減少傾向である状況も踏まえ、本市における母子生活支援施設の再編についても検討が必要。
  - 一方で、支援が必要な母子家庭等は、経済的な困窮やDV、心身の問題など複数の問題を抱えており、従来の枠組みだけでは対応が難しいケースもあり、現在の母子家庭を取り巻く環境の変化への対応も求められている。
  - 以上を踏まえ、令和4年1月の児童福祉部会において母子家庭等を取り巻く環境の変化を踏まえたうえで、しらぎく荘（公設民営）※の取り扱い、施設の活用や老朽化対応、規模の適正化等に関する「在り方検討」を行うこととした。
  - これまで区の母子・婦人相談員や女性支援関係団体等からのヒアリングや他都市の取組事例について調査を実施
- ※しらぎく荘については、施設の老朽化及び運営の継続が困難な状況であることから令和6年3月末までに休止予定。

## 2 在り方検討の進め方

- これまでのヒアリング等を踏まえ母子生活支援施設の現状や課題を整理
- 上記を踏まえて今後の母子生活支援施設が目指すべき方向性について検討
- 検討結果は（仮称）札幌市における母子生活支援施設の目指すべき方向性（以下「目指すべき方向性」という。）として取りまとめる

## 3 事業化の時期

目指すべき方向性における具体的な取組は、令和5年度に策定予定の「札幌市次期中期実施計画（アクションプラン）」の計画期間での事業化を目指す。



ビジョン編：札幌市の目指すべき都市像やまちづくりの基本目標を規定した令和4年度～令和13年度の計画（策定済み）。

戦略編：ビジョン編の基本目標達成に向けて取り組む手法を規定（未策定）。

中期実施計画：第2次戦略ビジョンに基づく個別事業を規定（未策定）。

## 4 児童福祉部会開催スケジュール

開催予定	審議内容（予定）
第1回目 令和4年12月15日（木） 18：00～	○「母子生活支援施設の在り方検討」の目的 ○（仮称）札幌市における母子生活支援施設の目指すべき方向性（骨子案）について ○調査状況報告
第2回目 令和5年2月ころ	○課題の整理 ○目指すべき方向性
第3回目 令和5年5～6月ころ	○（仮称）札幌市における母子生活支援施設の目指すべき方向性案について①
第4回目 令和5年7～8月ころ	○（仮称）札幌市における母子生活支援施設の目指すべき方向性案について②
予備日 令和5年9～10月ころ	